

第24回あらお荒炎祭運営委員長

前田和仁さん



まえだ・かずひと 1977 (昭和 52) 年生まれ。牛水在住。牛水で有限会社荒尾きのこセンターを運営し、エリンギの栽培と国内外への販売をしている。趣味は映画観賞と、妻と年に1度は旅行に行くこと

4つの炎<sup>\*</sup>をテーマに、荒尾の夏を彩る祭典といえ、「あらお荒炎祭」。毎年多くの市民でにぎわう荒尾市最大級の祭りです。「4つの炎は荒尾市民の誇りを表していると思います。来てもらった人に少しでも荒尾を好きになってもらえよう頑張りたい」と意気込む前田和仁さん。祭りの運営委員長を務めています。

前田さんにごしの見どころを訪ねると、「まずは、行灯パレードと総踊りですね。パレードの後部には自由参加ができるようなスペースを確保しているので、ぜひ参加していただき、一緒に総踊りも踊ってみんなで祭りの最高潮を迎えたいです。そして、新企画の大抽選会。オリジナルTシャツに付いてくる抽選券を当日に抽選箱に入れてもらい参加となります。特賞はなんとJTBの旅行券6万円分です」運営委員長に就任する前から祭りに携わってきた前田さん。「みんな自分の仕事の合間を縫って協力してくれています。会議のスケジュール調整

などみんなが参加しやすい環境作りには常に気を使っています」と、現場経験を生かした運営を心がけています。「失敗してもいいから祭りの最後まで胸を張って運営してほしい。祭りの準備をするのは当たり前前のことかもしれないですが、祭りに来てくれる多くの人の笑顔につながっているんですから」

前田さんにはまちづくり団体である荒尾青年会議所（JCC）の理事長という一面もあります。「荒尾を支える若い人材の輩出に役立てようと、9月10日に市政フォーラムを文化センターで開催します」

「JCC理事長としての私の自信の最初の一文は、『Better (より良くさせる)』です。新企画の大抽選会をはじめ、今回は来場者に祭り当日にアンケートを取らせてもらいます。良い祭りにするために声を聞かせてください」。24回の歴史を背負い、さらに飛躍を見せるあらお荒炎祭。オリジナルTシャツを着て、あなたも参加しませんか。

※1 「山の炎」…小岱山や陶芸の窯の恵み、「海の炎」…有明海の恵み、「大地の炎」…石炭産業に貢献した大地の恵み、「人の情熱の炎」…荒尾が生んだ偉人「宮崎兄弟」



1 JCCの例会で話をする前田さん(右から2人目)。「JCCは明るく豊かな社会の実現にむけて活動しています。会員募集中です」  
2・3 JCC主催のイベントである「万田坑スケッチ大会」と「キッズサッカー教室」。毎回多くの子どもたちが参加しています  
4 エリンギの栽培室にて。「荒尾の水と空気で育ったキノコを皆さんに食べてもらいたいですね」